

桜の里便り



令和2年度 第6号

大人の励ましが子どもの成長を支える

教頭 田村 芳彦

日吉小学校の今年度の重点目標は「自分で決めて 仲間とともに 高める子」です。この姿を具現するために、子どもたちが学習や生活、主な行事において、なりたい自分の姿を描き、自分で達成方法を考えて取り組み、振り返りをして改善を図るよう、働き掛けています。このような営みを PDCA サイクルと言いますが、このサイクルをどの子も自分なりに身に付けて欲しいのです。これから生きていく子どもたちに、必要な力だと考えるからです。

特に大切にしているのは、振り返りの場です。1時間の学習やその日の学校生活、各種行事の後など、タイミングや方法は異なりますが、できる限り振り返りを行い、子ども自身が自分の伸びやよさ、課題をしっかりと捉え、自己肯定感を高められるようにしています。その時に必要なのが、子ども同士の認め合いや大人からの賞賛です。子どもは仲間から認められたり、大人から褒められたりして、自分の行動を価値付けてもらうことで、達成感や自己有用感を感じます。



班ごとに振り返りをする子ども

日吉小学校では、定期的に教職員が見つけた子どものよい行いを生活指導部がまとめ、それを子どもたちに紹介しています。また、各種行事等の後に行った、保護者や地域の方のアンケートに記載された声を子どもたちに伝えるようにしています。

「子どもの日々のあいさつについて」防犯パトロール隊の方より（6月）

- ・元気よく目を合わせてあいさつしてくれる子もいるのですが、全体的な傾向として捉えるとはずかしいからなのか声が小さいのが残念に思います。パトロール隊が毎朝「お手本」を見せてもなかなか指導には結びつかないのが現状です。1年生に入った時から先輩学年が元気よくあいさつをしているのを見てそれがあたりまえの伝統のようなものになればいいのになあと考えています。
- ・元気よく大きな声であいさつする子、ニコッと笑顔を見せる子、小さな声でコクッと頭を下げる子、それぞれの性格が表れているように感じています。

「運動会の子どもの姿について」来賓の方より（9月）

- ・きびきびと行動している姿や大きな声を出して応援している姿がよかったです。
- ・高学年が低学年の面倒をよくみていたと思います。

「学習発表会の子どもの姿について」保護者の方より（11月）

- ・広い体育館の中でもしっかり声が遠くまで届くように、一人一人が意識して声を出していたように思います。
- ・前日リハーサルの際、子どもたちが意見を出し合い、発表をよいものにしたという気持ちが見え感心しました。



地域のクリーン活動に向かう子ども

いただいたこのようなお声を子どもたちに返すことで、子どもたちは自分の行動に自信をもち次の活動へ向かってさらにやる気を高めたり、行動を改善したりします。日常から子ども同士で認め合い励まし合うとともに、私たち大人が励ますことで、子どもたちはより健やかに成長していくと思います。今後も、折にふれて、温かく時には厳しく、子どもたちを励ましていただければありがたいです。

令和2年度 秋の日吉祭り 学習発表会

今年度の秋の日吉祭りは、各学年の学習成果の発表「学習発表会」のみ行いました。感染予防のため、様々な制限をお願いしなければならなかった今回の学習発表会でしたが、子どもたちの元気な姿をお見せすることができたのではないかと思います。また、PTAの皆様から運営にご協力いただき、スムーズに発表を行うことができました。ありがとうございました。



1年1組 児童

ぼくは、「かえるのぴよん」をはっぴょうしました。きんちょうしました。だけど、いえました。みんなとうたえて、うれしかったです。

1年2組 児童

学しゅうはっぴょうかいでは、きんちょうしたけど、じぶんのせりふをじょうずにいえてよかったです。ともだちも、はっきりせりふをいっていました。あと、うたもじょうずにできました。ともだちと、うたのこえがあって、うれしかったです。それから、ほかの学ねんのはっぴょうを見るのがおもしろかったです。

2年 児童

私は、めあてにしていた「伝わりやすい発表」ができるように、家や学校でたくさん練習しました。家では、毎日練習しました。学校では、本番だと思いながら、大きな声ではっきりと、みんなに伝わりやすい発表練習をしました。本番は、不安になりましたが、お母さんに励まされてうれしかったです。本番では、大きな声で言えてうれしかったです。



3年 児童

3年生は4年生と一緒に「紅蓮華」の合奏をしました。ぼくは、リコーダーでした。初めて曲をきいたとき、「リズムも速いしむりだ。」と思いました。でも、練習しているうちに少しずつできるようになりました。すきまの時間があると、苦手なところを練習しました。どんどん指が動くようになって、本番は、少しまちがえたけれど、全部できました。

えんそうしてみんなのリズムが合うと、心が一つになった気持ちがありました。はじめは合わなかったけれど、大だいこの音に合わせたら、そろそろようになりました。楽しかったです。

4年 児童

わたしは、秋の日吉まつりで2つがんばったことがあります。1つ目は、練習の時に、「全集中」を意識して合しようと合そうに取り組んだことです。指揮者の神林先生をよく見てえんそうすることを心がけました。2つ目は、本番で、「仲間と協力」して音を合わせたことです。仲間とともに音を合わせると心も合わさり、とても満足のいく発表にすることができました。これからも、「全集中」と「仲間と協力」をふだんの学校生活でも意識し、学んだことを生かしていきます。



5年 児童

私は、学習発表会で頑張ったことが2つあります。1つ目は、セリフを覚えることです。私は、2つの場面のセリフを覚えなければいけませんでした。だから覚えられるか心配でした。本番は、セリフを間違えずに言えました。2つ目は道具作りです。作る道具がたくさんあり、あきらめかけましたが、見ているお客さんにとって分かりやすくするために頑張って作りました。みんなと協力して準備をしたからこそお客さんを笑顔で楽しませることができたのだと思います。

来年は、もっと楽しめる学習発表会にしたいです。



6年 児童

今年度は感染拡大防止のため、学習発表会を例年どおりに行うことはできませんでした。しかし、そのような中でも、お家の人に発表をみてもらうことができ、うれしかったです。6年生は社会科の学習で学んだ歴史学習を基に、様々な時代にタイムトラベルし、歴史を体験してくるというユニークな内容でした。私は平安時代の紫式部を演じました。練習を重ねる中で、発表時間に合わせて何度もセリフを変えました。

本番では、セリフを大きな声ではっきり話すこと、衣装を素早くきれいに着ることを心掛けました。練習どおりうまくいったよかったです。また1つ小学校生活の思い出ができました。



第 1 期桜植樹

延期していた第1期植樹が、11月3日学習発表会の後に行われました。桜プロジェクト実行委員の5・6年生の進行及び誘導により、全校で植樹ができたことは本当にうれしいです。これまで5・6年生が中心となって活動を行ってきましたが、植樹後は「自分たちが植えた桜が春にきれいな花を咲かせるのが楽しみ」と全校の子どもたちが気持ちを寄せています。地域や保護者の皆様からもたくさん参加いただき、ありがとうございました。



甫仮様の植え方のお手本



桜プロジェクト実行委員と感想発表の子どもたち



学年ごとに協力して植えました



保護者や地域の方も

引き渡し訓練を行いました

例年実施している避難訓練時の「引き渡し訓練」。今回は、天気が悪かったため、体育館での引き渡しとなりました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、児童玄関での検温、手指消毒、校内の一方通行など、お手数をおかけしたものの、一人一人お名前を確認し確実に引き渡しができました。実際に災害が起こった場合には、誰が、いつ迎えに来れるのか分かりません。そんな場合でも子どもたちが安全に安心して避難できるように、そして確実にご家族に引き渡しができるように今回の訓練を活かしたいと思います。ご協力ありがとうございました。



<<<子どもたちの活躍>>>

令和2年度北野屋杯秋季北部郷野球大会

準優勝 日吉Tドリームス

